



作文1部

ぜんこくのうきょうきょうどうくみあいちゅうおうかいちようしょう
全国農業協同組合中央会会長賞

石垣島のお米作り

おきなわけんいしがきしりつとのしろ
沖縄県石垣市立登野城小学校三年

こはま
小濱 啓太

ぼくの住む石垣島には、いろいろなでんとうぎょうじがあります。ぼくは毎年家族と白保のほう年祭を見に行きます。いねの一生が唄や踊りで楽しく表現されていて、ぼくは好きです。お米とほう年祭のかんけいをもっと知りたかったのでお父さんに聞いてみました。するとお父さんが、石垣島は昔から米作りがさかんで、沖縄県の中で米の生産量が一番多いと教えてくれました。「なぜ石垣島でお米がたかさんでできるのか」ぎもんに思ったのでお父さんにたずねました。お父さんは、「おもと山」がかんけいしていると教えてくれました。そこでぼくは、おもと山とお米作りについてインターネットで調べてみました。

おもと山は、沖縄県で一番高く、526mあります。おもと山やその周辺の山の近くには、田んぼがたく

さんあります。山があるおかげでキレイな水や空気が田んぼに流れてくるのです。田んぼには水がたくさんひつようなので、きれいな水がたくさんある石垣島は、米作りにぴったりな場所なのです。だから、うつくしい水で作られた「石垣島産ひとめぼれ」は、ふつからしておいしいとなつとくしました。

ぼくは、自転車に乗ることが好きで、家族とよくサイクリングにでかけます。田んぼや畑のまわりを走ることもあります。さい近気づいたことがあります。畑や森だった所に大きなホテルや高いたて物が次々にできてきているということです。だんだんぼくたちの周りの緑や畑がへつてきていると思います。石垣島でとれる米や野さいが少なくなってしまうなにか心配です。

ぼくはいつか家族といっしょにお米や野さいをそだててみたいです。自分でそだてたお米で、おにぎりを作ってみたいです。大好きな塩おにぎりにして、おなかいっぱい食べたいです。